

ト共ニ各種政治的軍事的宣伝ノ行ハルルナキヲ保シ難キヲ  
以テ之カ動靜ニ付テハ注意ヲ怠ラサルヘシ

#### 4 漢冶萍公司および南潯鐵道接管問題

819 昭和4年1月(15)日 在上海矢田總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

江西省政府が国民政府鐵道部に対し毎月三万  
元補助金支出を認めたため南潯鐵道国有接管  
實現の状況について

付記 昭和三年十二月十八日付東亞興業株式会社よ  
り有田亜細亞局長宛外信第百七十八号  
江西省南潯鐵道問題をめぐる最近の状況報告  
上海 発  
本省 1月15日後着

第四二号

貴電第一二号ニ関シ再電左ノ通

九江発本官宛電報

第二号

外務大臣へ電報アリタシ

第二号

客年十二月二十八日附機密第二二五号拙信末段記載南潯鉄

路国有移管問題ニ関シ今般南京鐵道部ヨリ省政府ニ対シ公  
信ヲ以テ(イ)十八年一月分ヨリ同年十二月分ニ至ル迄江西省  
政府收入中ヨリ毎月三萬元ヲ交通部ニ納付シ債務ノ償還ニ  
当ツルコト(ロ)路股保息ハ交通部委員カ鐵路ヲ接管セル日ヨ  
リ廃止並(ハ)右接管時日ハ未定ノ旨來報越アリ右ニ対シ省政  
府ハ直ニ承認ノ旨回電セルモノラシク本月七日省政府財政  
長ハ鐵路公司ニ対シ向後毎月三萬元補助金支出ノ旨公信ア  
リタル趣ニテ鐵路ノ国有接管モ近々愈其ノ實現ヲ見ルヘク  
新任局長トシテ前交通部派遣鐵路管理局副局長張遙東就任  
ノ下馬評アリ  
北京、上海、南京へ転電シ漢口へ暗送セリ

(付記)

外信第百七十八号

昭和三年十二月十八日

外務省

東亞興業株式会社

有田亜細亞局長殿

江西南潯鐵道借款ニ関スル件

拝啓

南潯鉄道ニ関スル最近ノ情報ニヨレハ別紙摘録ノ通り一、同鉄道ノ国有計画、二、保息及路股ノ廃止、三、拆城附捐及修橋附捐ノ転用等重大問題発生致居候ニ付一応御承知置被下度不取敢此段御報告申上候  
敬具

(別紙)

江西南潯鉄道近況摘録 (昭和三年十二月)

一、国有計画

国民政府ハ五院制実施ニ際シ鉄道部ヲ新設シ從來交通部路政司ノ管掌セル鉄道事務ノ一切ヲ同部ニ移管シ部長ニ孫科ヲ任命シタリシカ是レ鉄道国有ノ実行ヲ計ラントスルモノナリ

而シテ右ニ関シ江西省政府委員建設廠長周貫虹ハ十一月二十二日ノ江西南潯會議ニ南潯鉄道ハ今後省ノ負責ヲ免レシメ鉄道部ノ直轄ニ帰セシメントヲ提議シ該案ハ同委員會ヲ通過シコノ旨鐵路管理局ニ訓令アリタリ  
同提案ハ一面ニ於テ鉄道力從來收受シ来レル保息路股ノ如キ積極収入及其他各種補助ニ関スル消極収入ヲ挙ケテ

一、顧問契約更改ノ件

坂田高比良両顧問ト鉄道トノ顧問招聘契約ハ何レモ本年満期トナレルモノナルカ両氏ノ希望モアリ更改ニ関シ当社ニ同意ヲ求メ来レルヲ以テ之ニ同意ヲ与ヘ置ケリ近ク更改契約締結ノ筈ナリ

以上

820 昭和4年1月16日

田中外務大臣より  
在南京岡本領事、  
在九江岩谷領事館宛(電報)  
事務代理

南潯鉄道の国有接管は経営方針の変更である  
ため中国側に東亜興業会社の借款元利償還に  
ついて具体策提示要求方訓令

本省 1月16日後5時30分発

合第一六号

貴電第二号ニ関シ

本鉄道ノ国有又ハ省有ニ対スル日本側態度ハ客年五月公森内田等ノ交渉ノ経緯モアリ国民政府交通部及江西省政府当局ニ於テモ充分承知シ居ル筈ニテ我方ニ於テハ支那側カス

省内ノ建設費ニ使用セントスル目算ヨリ出テタルモノニシテ林監理等ヨリ鉄道部ニ対シ交渉ヲ開始スル筈ナルモ本件ハ鉄道ノ収入財源ニ関スル限り後述ノ釐金撤廃ニ因ル保息減収問題ト共ニ輕々ニ見逃シ得サルモノナリ  
一、保息路股ノ廃止(釐金撤廃ニ伴フ)

関稅自主ノ前提トシテ十月二日商務會ニ於テ二十六ヶ所ノ釐金局廃止ノコトニ決定十五日ヨリ断行ノ旨ヲ發表シ之ヲ実行セリ右二十六ヶ所ナルモノハ何レモ僻陬ノ土地トテソノ影響ハ未タ僅小ナルモ漸次中央都市ニ及フニ於テハ釐金ノ附加税タル保息税及是ト類ヲ等フスル路股ハ自然廃止セラレテ当社ヘノ送金激減スルヲ免レス省政府カ之カ代税ヲ設クルカ又ハ一定ノ補助金ヲ設定スルカハ不明ナルモ目下ノ情勢ヨリスレハ何等成案ナキ模様ナリ  
一、拆城附捐及修橋附捐ノ転用

本附加税ヲ十二月ヨリ建設費ニ充ツルコトニ江西省委員會ニ於テ決議シソノ旨管理局ニ訓令アリタル旨入電ニ接シタルカ右ハ折角今春東亜代表ノ交渉ニ依リ東亜借款ノ利息引当ニ繰込マシメタルモノニ付之ヲ他ニ転用スルニ對シテハ抗議ヲナスヘキ必要アリ

ル措置ニ出テントスル場合ニハ少クトモ事前ニ東亜興業ニ對シ同社借款弁済ニ付具体案ヲ提示シ協議承諾ヲ求ムヘキコトヲ期待シ居ル次第ナリ然ルニ今回其ノ事ナクシテ直ニ経営方法ニ変更ヲ加ヘントスル如キハ本邦側債權ノ保全上默視シ得サル所ナルヲ以テ貴官ハ建設庁長代理其他省政府当局ニ對シ右ノ次第ヲ申入レ経営方法ノ變更ニ當リテハ豫メ本件借款元利償還ニ付我方ノ満足スル如キ具体案ヲ提示セムコトヲ要求セラレタシ  
南京宛ニハ「北京上海ヘ転電アリタシ」ト九江宛ニハ「漢口ニ暗送アリタシ」ト各附記ノコト

821 昭和4年1月22日

在九江岩谷(宗隆)領事館事務代理より  
田中外務大臣宛(電報)

龔学遂南潯鐵路新局長の談話より今回の接管は臨時のものであり債權確保のための申し入れは延期が良いと思われる旨請訓

九江 1月22日前発  
本省 1月23日前着

## 第五号

貴電合第一六号ニ関シ

屢次電報ヲ以テ報告ニ及ヒ置キタル通り所謂鐵道部ノ南潯鐵路接管問題ハ御既承ノ通當館ニ對シ支那側ヨリ未タ何等通知ナキト共ニ其ノ内容経緯ハ機密第一三号拙信所報ノ通ニシテ鐵道部並ニ省政府間ニ於ケル所謂接管ノ手續ハ甚タ明瞭ヲ缺キ今般新ニ局長任命セラレ其ノ形式ハ既ニ成立シタリト雖其ノ意義ニ付テハ曩ニ廬山會議ニ際シ省政府ニ於テ董事局ノ復活ハ主義ニ於テ認ムルモ實際問題トシテ急ニ之ヲ實現シ難キ事情アルニ鑑ミ暫行的弁法トシテ臨時官吏ヲ派遣シタルト同様今次鐵道部ノ接管モ斯ノ如キ暫行的弁法内容ノ公開ト解釈セラルル処ニシテ本月十九日龔新局長ノ來滬アリタルヲ幸ヒ梅谷書記生カ二十一日之ヲ往訪シ右接管ニ關スル鐵道部側意向等ニ付問ヒ質シタル処

(イ) 本件ハ未タ国有トナリタル次第第二非スシテ鐵道部カ省政府側要求ニ依リ代テ管理スルコトナレルコト

(ロ) 向フ一年間内ニ債款償還ノ具体案ヲ作り東亞ニ對シテハ鐵道部ヨリ委員ヲ派遣スルカ或ハ董事側ヨリ代表ノ派遣ヲ請ヒ協議シ一般株主ニ對シテモ同様諒解ヲ求メタル上

貴電第五号末段ニ関シ

今後毎月省政府ヨリノ補助金三萬元ノ支払実行セラレ省政府ノ誠意認メラルルニ於テハ意見ノ通り暫ク其ノ時機ヲ待ツコトト致度シ

漢口へ暗送アリタシ

北京、上海、南京へ転電セリ

823 昭和4年3月4日

在上海重光總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

国民政府農鋁部より漢冶萍公司に對し接收管理命令ありたるを以て交渉員を通じて外交部に抗議について

付記一 昭和三年四月十日付

「漢冶萍公司ニ關スル今後ノ措置案」

二 昭和三年四月二十四日付

「漢冶萍問題ニ關スル關係省會議」

三 昭和三年九月二十六日付

「漢冶萍問題善後措置ニ關スル關係各省  
係官會議議事要領」

ニテ始メテ国有トスル意向並ニ

(ハ) 向フ一年間月三萬元省政府ヨリ鐵道部ニ交付ノ補助金(從來ノ路股保息ニ代ルモノ)ハ東亞ニ支払ノ筈ニシテ前陳具体案ハ總体的債款ノ償還ヲ對償トセルモノニ付右毎月三萬元ノ支払ヲ以テ満足スルモノニ非ス

トノ趣ニテ所謂接管ハ前段記載ノ我解釈ト合致セルヲ以テ為念別ニ御來示ノ期待並ニ要求ヲ開陳シ向後トモ東亞側債權ノ尊重ヲ希望シ置ケリ

右ノ次第ニ付此ノ際省政府当局ニ對シ御來示ノ次第ヲ申入ルルハ今暫ラク時機ヲ見テハ如何カト存セララルル処右ニ關シ何分ノ儀至急御回訓ヲ請フ

北京、上海、南京ニ転電シ漢口ニ暗送セリ

822 昭和4年1月31日

田中外務大臣より  
在九江岩谷領事館事務代理宛(電報)

南潯鐵道に關する江西省政府への抗議は一旦  
延期方訓令

第二号 本省 1月31日後1時40分發

第二二七号

上海 3月4日後發  
本省 3月5日前着

国民政府農鋁部ハ本月一日附訓令ヲ以テ当地漢冶萍公司ニ對シ「本部直轄ノ整理漢冶萍公司委員會ヨリ公司ノ整理ニ關シテハ關係各省政府及各部トノ間ニ累次商議ヲ重ネタルモ同公司ノ内情複雑ニシテ債務過多ナルニ付整理方法確立ノ為ニハ先ツ接管ヨリ著手セサルヘカラス而モ右ニ關シテハ夙ニ政府ノ許可アル次第ニ付今般本會會議召集ノ結果同公司ヲシテ三月十五日以前ニ其ノ所有ニカカル石炭鐵鋁所其ノ他一切ノ財産ヲ本會ニ對シ交付接管セシムルコトト致度キ旨伺出ノ次第アリ本部ハ右ニ對シ許可ヲ与ヘタルニ付貴公司ニ於テハ右様心得ラレタキ」旨命令シ來レル趣ヲ以テ支那側へ抗議方同公司側ヨリ當館ニ願出アリ

右命令ニ依レハ整理委員會ハ今日既ニ交通部ヨリ轉シテ農鋁部ニ帰屬スルコトナリ居ル模様ナル処支那側カ客年一月以來我方トノ交渉ノ経緯ヲ無視シ今回再ヒ接管問題ヲ持出スニ至レルハ頗ル不都合ト認メララルニ付不取敢当地交渉員ヲ經テ外交部へ抗議方取計ヒ置キタルカ尚本件成行充

分警戒中ナリ

北平、漢口、南京へ転電シ蘇州、長沙へ暗送セリ

(付記一)

漢冶萍公司ニ関スル今後ノ措置案 三、四、一〇

一、本年二月公森大藏事務官カ南支地方ニ出張シ關係地領事及正金銀行代表者等ト共ニ漢冶萍問題ニ関シ直接國民政府ト交渉シタル結果同政府ヲシテ主要ノ点ニ於テ我方ノ要求及主張ヲ容認セシムルコトヲ得タリ即チ我代表カ國民政府代表者ヨリ得タル言明ヲ要約スレハ左ノ如シ

(イ)日本側ノ權利ハ充分之ヲ尊重スルコト

(ロ)漢冶萍公司ハ未タ接管ヲ実行シタルニアラス萍鄉炭鉱

ニ對シテハ軍事時代一時ノ措置トシテ接管シタルモ已

ニ之ヲ撤廃シタルコト

(ハ)將來整理ノ為接管スル場合ニ於テハ案ヲ具シ日本側ト協議スヘク決シテ单独ニテ実行セサルコト

國民政府カ叙上ノ如ク誠意ヲ以テ我方ノ權利尊重ヲ誓約シタル上ハ今後當方トシテ採ルヘキ措置ハ一方ニ於テハ國民政府接管ノ口実トナレル公司自体ノ整理ヲ促進スル

為其ノ經營組織ニ付根本的改革ヲ加ヘ充分其ノ機能ヲ發揮セシメ得ル様適切ナル方策ヲ講スルト共ニ、他方ニ於テハ多年ノ懸案タリ且公司船舶押収ノ因ヲ為セル砂捐問題ノ解決ヲ図ル為速ニ湖北省政府トノ交渉ヲ進行セシムルニ在リ

二、然ルニ前項ノ措置ヲ進ムル前ニ決定セサル可ラサル一重要事項アリ即チ從來製鉄所ハ漢冶萍公司ヨリ鉱石ノ外鉄鉄ノ供給ヲ受クルノ方針ヲ以テ進ミ來リタル処、今後モ尚其ノ方針ヲ維持ス可キヤ或ハ近時事情ノ變化ニ鑑ミ今後ハ鉄鉄ノ獲得ヲ断念シ鉱石ノ取得ヲ以テ足ルトスル方針ニ變更ス可キヤノ問題ナリ、蓋シ同公司ハ其ノ生産スル鉱鉄兩者ヲ我邦ニ供給スル基礎ノ下ニ全般ノ計画カ立テラレ加之鉄鉄關係利益ハ日本借款元利払ノ主要資源ナルヲ以テ若シ今後鉄鉄ノ製造廃絶セラルルニ於テハ同公司ノ收支計算ハ根底ヨリ覆サレ借款元利ノ完済ハ到底見込ナキニ至リ從ツテ公司今後ノ整理計画、經營方法ハ茲ニ一大變更ヲ要スルコトナルヘキヲ以テナリ

三、本問題ニ付テハ關係各方面ニ於ケル研究ノ結果大体ニ於テ近年支那内地ノ情勢及本邦国内ニ於ケル製鉄事業発

達ノ現状ニ鑑ミ從來ノ對漢冶萍政策モ一變シ我製鉄所ハ今後漢冶萍ヨリ鉱石ノ供給ノミヲ以テ満足シ鉄鉄ノ供給ハ之ヲ断念スルヲ可トスルニ至レリ、其ノ理由左ノ如シ  
(イ)製鉄原料タル骸炭ノ產地タル萍鄉ノ所在僻陬、政情不安ニシテ工人跋扈シ且交通機關不十分ノ為骸炭ノ安全且低廉ナル供給ヲ期待スルコト能ハサルコト

(ロ)支那内地ニ於テ鉄鉄ヲ製造シ之ヲ輸入シテ更ニ鋼ヲ製出スル作業ハ鉱石ノ儘内地ニ輸入シテ之ヨリ鉄鋼ヲ製造スル作業ニ比シ甚シク不經濟ニシテ生産費ノ増嵩ヲ免レサルコト

(ハ)本邦内外ニ於ケル鉱石供給ノ現況ニ鑑ミルトキハ今後ハ熔鉱爐ヲ国内(滿洲ヲ含ム)ニ増設スルコトニ依リテ平戰兩時ニ於ケル鉄ノ需要ニ応シ得ルコト(別調査源局調査ニ依ル)

四、漢冶萍公司ハ今後鉄鉄ノ製造ヲ中止シ專ラ鉱石ノ採掘販売ヲ以テ其ノ經理ヲ立テサル可ラストセハ同公司ノ經營ハ其ノ基礎ノ下ニ立直シヲ加ヘラレサル可ラサルノミナラス鉄鉄關係利益ヲ以テ其ノ主要資源トセル本邦借款ノ元利払モ新事態ノ出現ニ伴ヒ當然条件ノ改定ヲ免レサ

ル可キナリ何トナレハ本邦借款資金約四千万円中概算一千五百万円ハ大冶熔鉱爐ノ設置其ノ他鉄鉄製造設備費ニ使用セラレタルヲ以テ今若シ是等設備無用ニ歸シタリトセハ借款中製鉄關係利益ヲ償還資源トセル部分ノ負担カ輕減セラルルニ非スンハ公司ハ經理上結局行詰ルニ至ル可キハ自明ノ理タリ

五、右ニ謂フ借款条件ノ改定トハ(イ)利率ノ引下又ハ全免(ロ)利息ノ或ル期間支払猶豫(ハ)元金ノ一部切捨ノ外ニ出テス而シテ其ノ何レタルトヲ問ハス其ノ実行ニ伴フテ起ル最モ困難ナル問題ハ国内問題トシテ之等ノ借款条件改定ノ場合ニ於テ債權者側ノ蒙ムル可キ犠牲ヲ如何ニ調整ス可キヤノ問題ナリ

六、右債權者側犠牲ノ調整ニ付テハ本借款ノ本質及由來ヲ深く考慮ニ加ヘ決定ノ要アリ即チ本借款ハ元來本邦製鉄國策ノ大局ヨリ遂行セラレタルモノナルヲ以テ其ノ犠牲ハ現在ノ借款當事者タル預金部ノミノ負担ニ歸ス可ラサルト同時ニ製鉄所經理ノ現状ニ鑑ミ之ヲ製鉄所ノミノ負担ニ歸セシムルコトモ亦事實上不可能ナリ、之ヲ以テ此犠牲ハ預金部及製鉄所ニ於テ事情ノ許ス限度ニ於テ之ヲ

分担シ其ノ能ハサルモノニ付テハ他ニ適宜調整ノ方法ヲ講スルノ外ナカルヘシ、而シテ結局ハ本借款ノ外現在預金部引受ニ係ル製鉄原料借款全部ノ製鉄所承継問題実行ノ際一括解決セラルルノ外ナシト認メラル

七、併シ漢冶萍交渉案件ヲ目前ニ控ヘ漫然右承継問題解決ノ日ヲ待ツ能ハサルヲ以テ先以テ差当実行シ得ル応急措置ヲ講シ以テ本件ノ進行ヲ図ル外ナシ、而シテ其ノ応急措置トシテハ製鉄所經理ノ現状ニ於テ堪ヘ得ル限度ニ於テ犠牲ヲ負担シ、其ノ負担シ能ハサルモノハ借款全部ノ承継実行ニ至ル迄（遅クモ昭和五年度迄）預金部ノ負担トシテ処理シ行クノ外ナシト認メラル

八、製鉄所ノ犠牲負担ノ方法ハ結局鉍石代金ノ値上ニ外ナラス、而シテ鉍石代金ヲ如何ナル程度迄引上得ルヤニ付テハ或ハ種々計数上ノ講究ヲ遂クル必要アル可キモ今日速決ノ方法トシテ現ニ製鉄所カ桃沖鉍石ノ為支払ヒ居ル代価迄ハ値上ノ餘地アルモノト断セントス、即チ桃沖鉍石代金ハ左ノ通屯当リ七円二十三銭五厘ナルヲ以テ大治鉍石ハ少クトモ七円迄値上セシメ得可シ

1、銀計算ノ分 三元五〇〇

右金換算額 四円二三五（一元、一元二十一銭ノ定率）

2、借款元利充当分 一元八五〇

3、臨時増加 一元一五〇

計 七円二三五

七円迄値増シタル場合ニ於テ漢冶萍公司ハ其ノ收入金中ヨリ生産費ヲ控除シタル残額ヲ以テ借款ノ利子ヲ支払フ可ク其ノ所定利子額ニ対スル不足ハ預金部ニ於テ当分支払ヲ猶豫スルノ外ナカルヘシ

九、借款ニ関シ前述ノ如キ暫定の処置ヲ行ヒ其ノ基礎ノ下ニ公司ノ經理方針ヲ樹ツルト同時ニ公司ノ経営組織ニ付テハ一方公司今日ノ難局ニ際シ公司側殊ニ盛總經理ノ本邦最高顧問派遣ニ対スル要請甚タ切ナルモノアルト他方公司対国民政府ノ交渉日ニ重キヲ加ヘ從來ノ兩顧問ニ委シテ晏如タル能ハサル事態トナリタルヲ以テ既定ノ方針通此ノ際速ニ適當ノ人物ヲ簡拔シテ最高顧問ノ局ニ当ラシムルコト急務ナリトス

十、以上述フル所ヲ要約スレハ本問題ニ関シ今後採ルヘキ措置左ノ如シ

(イ) 漢冶萍公司ノ事業ハ今後専ラ鉍石ノ採掘販売ニ限り鉄製造ハ見合ハスコト

(ロ) 鉍石代金ハ製鉄所經理ノ許ス限度ニ於テ値増ヲ行ハシムルコト

(ハ) 漢冶萍公司ハ鉍石代金中ヨリ生産費ヲ控除シタル残額ヲ以テ借款ノ利子ヲ支払ヒ其ノ不足額ハ債権者側ニ於テ支払ヲ猶豫シ通次繰越ヲ認ムルコト

(ニ) 本邦側最高顧問ヲ速ニ派遣シ公司经营ノ刷新、整理ノ促進ヲ図ラシムルコト

(ホ) 湖北省ニ対スル砂捐問題ノ交渉ハ速ニ開始スルコト

## （付記二）

漢冶萍問題ニ関スル關係省會議

一、昭和三年四月二十四日午後四時半外務省小會議室ニ於テ開催、出席者左ノ通

外務省 森政務次官、植原参与官、有田亜細亞局長、武

富通商局長、中山第一課長

大蔵省 富田理財局長、金子監理課長

商工省 吉植政務次官、三井鉍山局長、渡邊鉍政課長

製鉄所 中井長官、山縣囑託

陸軍省 阿部軍務局長

参謀本部 松井第二部長

軍令部 米内第三班長

## 二、議事

先ツ別紙措置案提出者タル富田理財局長ヨリ同案ノ説明ヲナシ特ニ鉍石買値値上ノ問題ニ付テハ現在ノ四円ヲ七円迄引上ケ製鉄所ニ於テ毎年五十万噸宛買入ルコトトスレハ公司トシテハ噸当リ三円總計百五十万円ノ増収トナルヘク之ヲ以テ我方借款五千万円ニ対シ年三分ノ利子ヲ支払フヲ得ヘキ旨ヲ説明セリ

右ニ対シ中井長官ヨリ(一)鉄鉍石ニ対スル根本方針ノ決定ヲ見ルニ至ル迄ハ暫定の措置トシテノ鉍石買値ノ値上ハ製鉄所トシテ之ヲ難シトスルコト及(二)最高顧問派遣問題ニ付テハ商工大臣ニ別ニ意見アル由ニ付同大臣ト相談シタル上ニアラサレハ何等意見ヲ發表スルコトヲ得サル旨ヲ述ヘタリ

次テ有田亜細亞局長ハ支那側ノ接管計画ヲ阻止スル為ノ一方法トシテ砂捐問題ヲ速ニ解決シ支那側ニ交付スヘキ

モノハ之ヲ交付スルコト適當ナルヘク鉍石買値上ニ依ル増収ノ一部ヲ之ニ充当スルコト然ルヘシト述ヘ(山縣囑託ヨリ右砂捐支払ノ基金ハ別ニ現ニ正金銀行ニ預入アリト述ヘタルカ金子監理課長等ヨリ右ニ付疑問出テ結局有耶無耶トナレリ)尚支那側カ自ラ漢陽及大冶等ニ於テ製鉄所ヲ經營セムトスル場合ニハ日本側借款中鉄鉄業ニ對スル投資タル千五百万円ハ右支那側製鉄業ニ之ヲ負担セシムル意向ナリヤト質問セルニ對シ中井長官ハ製鉄所トシテハ右ノ場合鉄鉄ヲ普通商品トシテ營業的見地ヨリ買入ルル方針ナリト答ヘタリ

森政務次官ヨリ仮ニ支那側カ五千万円ノ我方借款ノ返還ヲ申出テタル場合我方トシテハ鉄鉄ニ付テモ鉍石ニ付テモ其權利ヲ拋棄スル意向ナリヤト質問シタルニ對シ松井部長ハ此機會ニ於テ參謀本部トシテノ意見ヲ述ヘ置キ度キ旨ヲ以テ此際支那ニ於ケル製鉄業ニ對シ我方トシテ全然見切りヲツクルコトハ軍事上ノ見地ヨリ甚タ考ヘ物ナリト思考スル旨ヲ述ヘタリ

次テ森政務次官ヨリ仮ニ漢冶萍公司ニ對シ最高顧問ヲ派遣スル場合如何ナル権限ヲ之ニ与フルヤ又顧問カ失敗シ

タル場合何人カ其責任ヲ負フヤト質問シタルニ對シ富田局長ハ右失敗ノ場合ニハ我方トシテハ鉍石買入ヲ断念スルト共ニ債權モ之ヲ拋棄スヘキコトヲ覺悟シ居ル次第ナルカ最高顧問派遣ハ契約ニ規定セル委任經營實施ノ一部トシテ之ヲ実行スルモノナリト述ヘタリ

森政務次官ヨリ本案ニ依レハ公司株主側ニ對スル配当皆無ナル処右ハ如何ニスルツモリナリヤト質問シタルニ對シ富田局長ハ右ハ深く考慮ヲ要スル点ナルカ結局鉍石代ノ問題ニ落着クモノト思考スル旨ヲ答ヘタリ

最后ニ吉植政務次官ヨリ我邦鉄政策ノ問題ト債權整理ノ問題トハ各別ニ之ヲ決定スルコト必要ナリ債權問題ハ鉄政策決定ノ結果ニ依リ如何様ニモ決シ得ヘク例ヘハ閣議決定ニ依リ預金部貸付ヲ棒引トスルコトモ可能ナルヘキニ付根本方針トシテ鉄ヲ如何ニスルカヲ差当リ決定スルコト肝要ナルヘシト述ヘ結局商工省ニ於テ右鉄政策問題根本方針案ヲ立案シタル上改メテ關係省會議ヲ開催スルコトトナリ尚次回ヨリ大藏政務次官及事務次官ヲ招請スルニ決定セリ

### (付記三)

漢冶萍問題善後措置ニ關スル關係各省保官會議議事要領

一、昭和三年九月二十六日外務省第一會議室ニ於テ開催

一、出席者

商工省 吉植政務次官、四條次官、三井鉍山局長、渡邊

鉍政課長

製鉄所 中井長官、川久保理事、山縣囑託

大藏省 山口参与官、富田預金部長、金子管理課長

陸軍省 梅津軍事課長

參謀本部 松井第二部長

海軍省 左近司軍務局長

軍令部 米内第三班長

外務省 森政務次官、植原参与官、有田亜細亞局長、中

山亜細亞局第一課長、田中事務官

一、議事

漢冶萍債權善後措置方ニ關スル別紙商工省案(省略)ニ付

先ツ吉植政務次官ヨリ大要左ノ通り説明アリタリ

商工省ニ於テ省議決定セル所ヲ概言スレハ

(イ)製鉄業ニ付テハ既ニ好況時代ニ於テ製鉄所ヨリ合計

一億六千万円以上ノ益金ヲ一般會計ニ提供シアルコト

(ロ)製鉄所トシテ特別會計以前ノ負担ヲ今日背負フハ極

メテ困難ナルコト

(ハ)製鉄業ノ國際競争劇甚ナル今日我製鉄業トシテ此上ノ「ハンディキャップ」ヲ負フニ堪ヘ難キコト

等ノ理由ニ依リ本件借款ノ跡仕末ハ原則トシテ大藏省ニ於テ引受ケラレ度シ尤モ製鉄所ニ於テモ漢冶萍ヨリ鉍石ヲトル限度ニ於テハ右跡仕末ノ一部ヲ引受クルニ吝ナラス例ヘハ約一千万円ヲ無利子五十ヶ年賦位ノ条件ナラハ引受ケ得ヘシ

次テ中井長官ヨリ更ニ敷衍的説明アリタリ

次ニ質問ニ移リ亜細亞局長ヨリ商工省ノ立場ヨリ見テ漢冶萍ノ鉍石ハ戰時等ノ場合ヲ考慮シ是非トモ之ヲ確保シ置クヘキヤ又ハ之ナクトモ大シテ苦痛ヲ感セサルヤ是非共必要ナラハ漢冶萍ノ鉍石ヲ借款ニ依リ我方ニ拘束シ置クヲ要スル次第ナルモ若シ大シテ必要ナキナラハ例ヘハ國民政府接管ノ場合漢冶萍ノ事業ヲ官營トスルヲ默許シ借款ハ之ト切離シテ別ニ同政府ヲシテ整理ノ方法ヲ講セシムルノ案ヲ考ヘ得ヘシト述ヘタルニ對シ

吉植政務次官及四條次官ハ漢治萍ノ鉱石ハ戦時ハ勿論平時ト雖之ヲ必要トスル次第ナルモ従前ニ此シ其重要サヲ著シク減シタルハ事実ニシテ又単ニ製鉄所ノ立場ノミヨリ云ヘハ堪ヘ難キ犠牲ヲ忍ヒテ迄之ヲ確保セサルヘカラサル必要ハナシト述ヘ又中井長官ハ實際上ノ見地ヨリ漢治萍カ官営トナル場合ニハ製鉄所トシテ不便ヲ感スル所多カルヘシト述ヘタルカ結局本問題ニ付テハ商工省ニ於テ至急省議ヲ決定スルコトナレリ

尚別紙商工省案ニ就テハ大蔵省側ニ於テ研究ノ上省議ヲ取纏ムルコトナリタリ

824 昭和4年3月6日

在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

漢治萍公司側としては漢治萍公司整理委員会の提議を承認した農鉱部の命令に対し遷延策を採用の意向との芳澤公使報告について

別電 三月六日発在上海重光総領事より田中外務大臣宛第二三八号

中国国民政府農鉱部の漢治萍公司接収管理方

収ノ意思アルモノト認メ居ラサル処不取敢関係者協議ノ結果農鉱部ニ対シテハ株主及債権者ノ利益ヲ如何ニ処理スヘキヤヲ質問スル程度ニテ極メテ不得要領ノ回答ヲ為シ置キ成可ク問題ノ遷延策ヲ講スル意向ナリトノコトナリ

別電ト共ニ北平、漢口、南京ニ転電セリ

(別電)

第二三八号

農鉱部訓令

今般当部直轄漢治萍公司整理委員会ヨリ同会ニ於テ公司ノ整理事務ニ関シ湖北湖南江西ノ三省政府及外交財政鐵道交通ノ各部トノ間ニ交渉ヲ重ネ来リタル処公司ノ内状複雑且債務巨額ナルヲ以テ之カ接収管理ヲナシ政府ノ批准シタル接収管理弁法ニ依リ整理ヲ実施スル必要アリト認メタル趣ヲ以テ三月十五日以前ニ右公司ノ煤鉄工廠及一切財産ヲ同委員会ニ引継キ管理セシムル様発令アリタキ旨申請ノ次第アリ依テ右許可ノ旨指令シ置キタルニ付テハ同公司ニ於テ此ノ旨遵守スヘシ

訓令

上海 3月6日後発  
本省 3月6日後着

第二三七号

芳澤公使ヨリ

三月二日孫寶琦挨拶ノ為本使ヲ来訪ノ節孫ハ漢治萍公司ノ現状ニ関シ国民政府ハ大体ニ於テ日本側トノ從來ノ関係ヲ認メ鉄鉱ハ之迄通日本ニ供給シ又日本側ノ債権ヲ承認シ既往ノ契約モ履行スル意向ナル様見受ケラルル処事業ノ経営ニ対シテハ營業權ヲ政府ニ取上クル計画ニテ昨年来漸次干渉ヲ始メタル為株主ハ頗ル不安ヲ感シ居レリトテ将来必要ノ場合日本側ノ援助ヲ得タシトノ意味ヲ申出タルカ次テ四日枝光製鉄所当地出張員山縣初男カ齋ラセル報道ニ依レハ国民政府ハ本月一日附農鉱部訓令ヲ以テ大要別電ノ通公司ノ接収管理ヲ実行スル旨発令シタル趣ナリ

尚右ニ関シ五日同公司顧問吉川カ本使ヲ来訪シ語ル処ニ依レハ公司側ニテハ右接収命令ハ農鉱部所屬ノ同公司整理委員会カ手柄顔ニ提議シタルニ対シ同部ニ於テ其ノ儘承認シ発令シタルモノニシテ政府ニ於ケル最高幹部ハ必スシモ接

825 昭和4年3月9日

田中外務大臣より  
在上海重光総領事宛(電報)

大蔵省より漢治萍接収問題に対し国民政府の反省促進のため抗議提出方依頼について

別電 三月九日発田中外務大臣より在上海重光総領

事宛第一六二号

大蔵省よりの抗議文案

本省 3月9日後5時30分発

第一六一号

貴電第二二七号ニ関シ

既ニ外交部ニ対シ一応抗議セラレタル趣ナルカ大蔵省ヨリ更ニ国民政府ノ反省ヲ促ス為大体別電第一六二号ノ趣旨ノ抗議提出方依頼アリタルニ付右然ルヘク御取計アリ度シ尚漢治萍借款当初ノ契約ニ依レハ製鉄所カ公司ヨリ購入スル鉄鉱代金ヨリ優先ニ本邦側借款元利ノ支払ヲ為サシムルコトトナリ居ルモ大正十五年四月一日ヨリ昭和四年三月末日迄三ケ年間公司救済ノ為臨時的措置トシテ鉄鉱代金中生産費及緊急経費ヲ優先ニ公司ニ交付シ其残額ヲ以テ本邦側借款元利ノ支払ニ充当スルコトトナリ居リ實際ニ於テハ既

往三年間ハ公司ノ事業継続ノ為本邦側トシテハ全然借款元利ノ支払ヲ受ケ居ラサル実情ナルカ若シ国民政府ニ於テ我方ト何等協議ナク擅ニ接管ヲ実行スルニ於テハ前記ノ恩惠的取扱ヲ四月以降継続スルコトハ我方ノ絶対ニ承認スルコト能ハサル所ナル旨大蔵省ヨリ併セテ申越シタルニ付本件交渉ニ当リ右御含ミ置キアリ度シ

別電ト共ニ北平、南京、漢口へ転電アレ

## (別電)

第一六二号

貴政府農鉱部ハ昭和四年三月一日附ヲ以テ漢冶萍公司ニ対シ三月十五日以前ニ於テ同公司所有ノ石炭、鉄鉱所其他一切ノ財産ヲ整理漢冶萍公司委員会ニ対シ交付接管セシムヘシトノ命令ヲ発シタル趣ノ処同公司ノ財産ハ拳ケテ其債權者タル横浜正金及日本興業銀行ニ対シ担保トシテ提供セラレタルモノナルニ付右接管ハ我方ノ權益ヲ侵害スル不当ノ措置タルヲ免レス殊ニ客年二月十日漢冶萍接管問題ニ関シ矢田総領事、公森大蔵事務官及正金並製鉄所代表カ貴政府代表ト会見交渉ノ際覚書ヲ以テ通シ置キタル帝国政府並債

山第一〇二号

昭和四年三月十八日

上海駐在囑託 山縣 初男

製鉄所長官 中井 勳作殿

公司接管ニ関スル経過第三報<sup>(二カ)</sup>

董事会ノ決議ニ基ツキ董事夏楷復氏ハ三月九日上海ニテ農鉱部長易培基氏ヲ訪問シ公司ノ処置ニ対シ意見ヲ求メタルモ孫寶琦氏ヘ対スル答ト同様人ヲ整理委員会ニ派シテ接衝スルヨリ外ナカルヘシトノコトニテ其ノ応答ニ依リ察スルニ易氏モ亦整理委員会ヲ抑制スヘキ力ナキモノト觀察シタルニ依リ夏氏モ要領ヲ得スシテ帰来シ更ニ公司側ノ主要者協議ノ結果

(一) 接管問題ハ成ルヘク高等政策ニ依リ処理セラルルヲ可トス

(二) 整理委員会へ直接派員交渉スルコトハ事務的ニ繁煩<sup>(項カ)</sup>ヲ来タスノミナラス或ハ派員ヲ均留セラルルノ恐れアリ

(三) 然レトモ国民政府ニ対シ何等カノ回答ナカルヘカラサルヲ以テ不取敢孫寶琦氏ノ名義ニテ別紙ノ抗議電報ヲ発スルコト

権者ノ意思ヲ顧ミス且「同公司ニ対スル日本側ノ權益ハ之ヲ尊重スルハ勿論接管ヲ実行セムトスルニ就テハ先ツ日本側ト協議ヲ遂クヘシ」トノ貴政府代表ノ言明ニ反スル不信ノ行動ニシテ帝国政府ノ看過スル能ハサル所ナリ貴政府ハ須ク速ニ前記命令ヲ取消シ豫メ我方債權者ト篤ト協議ヲ遂クヘク帝国政府ハ茲ニ貴政府ノ反省ヲ促スモノナリ

826 昭和4年3月18日 川久保(修吉) 製鉄所総務部長より  
有田亜細亜局長宛

易農鉱部長も漢冶萍公司整理委員会を抑制できず公司側としてはとりあえず抗議について

東鉄第三一五号

昭和四年三月十八日

製鉄所総務部長 川久保 修吉〔印〕

外務省亜細亜局長 有田 八郎殿

南京政府ノ漢冶萍公司接管ニ関スル山縣囑託ノ報告写別紙及御送付候也

## (別紙)

ト決議シ十一日別紙ノ抗議電報ヲ發送セリ

## (別紙)

南京 易農鉱部長宛

孫寶琦電報 民国十八年三月十一日午後十一時発

迭リニ御高教ヲ辱ウシ感佩誠ニ深シ漢冶萍公司ハ創設経営備サニ艱險ヲ嘗メ殊ニ近年ハ時局ノ影響ヲ受ケ痛苦ヲ感スルコト甚シ頃口統一成ルヲ告ケ漸ク原状ニ恢復センコトヲ冀ヒシニ今般期ヲ限リテノ接管ノ部令ヲ奉シ群情震駭ス就テハ惟タ大部ニ対シ民情ヲ俯恤シ成命ヲ撤回シ以テ実業ヲ維持セラレンコトヲ懇願スルアルノミ茲ニ貴電ヲ以テ請願シ奉ルニ付何卒右御許容賜ハリ度切望ニ堪ヘス

827 昭和4年4月5日 川久保製鉄所総務部長より  
有田亜細亜局長宛

現状では接管強行はないとの漢冶萍公司側の見通しについて

東鉄第四〇二号

(4月5日接受)

昭和四年四月五日

製鉄所総務部長 川久保 修吉〔印〕

外務省亜細亞局長 有田 八郎殿

漢冶萍公司接管問題ノ経過ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ漢冶萍公司會計顧問吉川雄輔ヨリ別紙写ノ  
通報告越候条為御参考爰許及送付候也

(別紙)

昭和四年三月二十五日

漢冶萍公司

會計顧問 吉川雄輔(印)

製鉄所長官 中井 勳作殿

公司接管問題其後ノ成行ノ件

再度発布ノ公司接管命令ニ対シテハ何レ何分ノ対策ヲ講究  
スヘキ旨去十九日御報告申上置候処其後二十一日公司董事  
会ヲ開催会長孫寶琦(盛恩願ヲ代表ス)董事夏楷復、厲汝  
熊(黄贊熙ヲ代表ス)監察金菊蕃等出席協議ノ上  
本会ノ請願ハ無効ナリシモ此事關係重大ナルニヨリ更ラ  
ニ全案ヲ株主聯合会ニ移交シテ議決并理セシムヘシ  
ト議決致候

翌二十二日他用ヲ以ツテ盛經理ニ面会致候際盛ハ株主聯合

結果ヲ得ラレサルヘシト思フ故中止ニ至極同意ノ旨挨拶シ  
結局株主聯合会ニ移交ノコトハ中止ノコトニ決シ候

尚ホ本日孫ヨリ孫ノ友人カ南京ニ於テ王外交部長ニ面会セ  
シ際王ヨリ漢冶萍公司接管問題ニ付テハ南京政府内モ混雜  
シ居リ公司接管ノ実現スル如キコトナカルヘシト思フ故孫  
氏ニ面会ノ節ハ安心アリタキ旨伝ヘラレタシトノ伝言アリ  
タル由報告有之候

接管問題モ以上ノ如キ経過ナルニ付孫ハ今一応黄郛ヲ煩ハ  
シテ易農鈺部長ニ公司接管ニ関シテハ公司内部ニモ複雑シ  
タル關係アリテ遺憾ナカラ貴意ニ応シ難キ立場ニ有之故不  
惡諒承アリ度旨挨拶シ数日中ニ杭州ニ旅行スル様申居リ候  
最近愈南京武漢間ノ衝突トナリ形勢複雑セル故此上強権ヲ  
以ツテ公司ニ臨ムコトナカルヘシト推セラルルニ付小生ハ  
来月五日接管命令期日迄滯滬シ翌日当地発上京ノ心得ニ致  
シ居候右及報告候 敬具

同文送付先 横浜正金銀行頭取

828 昭和4年4月11日

島(芳藏)横浜正金銀行借款課長より  
谷亜細亞局第一課長宛

会ハ結局頼ムニ足ラス最後ノ決ハ只日本ノ援助如何ニ懸ル  
コトヲ繰リ返シ陳述致シ居リシカ其翌二十三日孫寶琦ニ面  
会シ株主聯合会ニハ如何ニ議決セシメ如何ニ并理セシムル  
ノ意向ナリヤ相尋候処孫ハ最近其子息ヲシテ孫ノ親書ヲ持  
参シテ南京ニ王外交部長ヲ訪ハシメ接管問題ニ付其意見ヲ  
叩クト同時ニ援助ヲ願出シメタル処王ヨリハ別ニ具体的ノ  
回答ハナカリシモ心配スルニ及ハサル故安意シテ可ナリト  
ノ挨拶アリ多分日本ヨリノ抗議ニテコノ挨拶トナリタルモ  
ノナラント思ハレ南京政府ノ意向モ大体窺知スルニ足ルヘ  
ク思考セラルル処前ニ董事会ノ議決後熟ラ再考スルニ聯合  
会中ニハ对公司貸附金ヲ一仙モ支払フ受ケストテ不平滿々  
ノ傳役庵ノ如キモノアリ其他種々現董事会ニ反対ノモノモ  
アリ加フルニ数年来配当ヲナササルハ勿論株主總會ヲモ召  
集シタルコトナキ現状ヨリ見テ一旦聯合会ノ議ニ附スル時  
ハ却ツテ紛議簇生シ之ヲ收拾スルコトスラ困難ニ陥ルコト  
ナキヲ保セス事頗ル面倒ナリト察セラルルニ付聯合会ニ通  
知ノコトハ中止スルコトニ致シ度シト思フカ貴意如何トノ  
コトナリシ故小生ヨリモ聯合会ヲシテ董事会ノ意ノアル如  
ク行動セシムルコト難キニ於テハ却ツテ紛糾ヲ来シ良好ノ

漢冶萍公司整理委員会が公司の接管即日実行を

農鈺部に申請との盛總經理電報写送付について

第四ノ二九号 昭和四年四月十一日

横浜正金銀行

借款課長 島 芳藏(印)

外務省亜細亞局 第一課長 谷 正之殿

漢冶萍公司盛總經理電信写送附ノ件

漢冶萍公司接管ノ件ニ関シ盛總經理ヨリ当地滯在中ナル同  
公司簿記股長費敏士宛別紙写ノ通り電報致越候趣ニテ同股  
長ヨリ其写提出致越候ニ付更ニ其写拜送供貴覽候 敬具

同文送附先 大蔵省預金部

理財局

(別紙)

上海盛總經理来電(四月十日午後五時着)

東京 費敏士宛

南京整理委員会九日開会即日接管ヲ実行センコトヲ農鈺部  
ニ申請スルコトニ議決セリ右日本側ニ報告此ノ上トモ援助  
ヲ請ハレタシ

昭和4年5月4日 田中外務大臣より  
在上海重光総領事宛(電報)

債務整理並びに漢治萍公司および南潯鐵道接管問題につき中国側と交渉のため大蔵省公森財務官出張について

付記一 四月二十三日付大蔵省

債権確保を主眼とする大蔵省の南潯鐵道接管問題に関する対策案

二 四月二十五日付黒田(英雄)大蔵次官より吉

田外務次官宛監六一号

大蔵省側の漢治萍公司接管問題対策送付について

本省 5月4日後7時発

第三一六号

往電第三一二号ニ関シ

公森財務官ハ債務整理問題ノ外漢治萍及南潯鐵道問題ニ付支那側ト交渉ノ任務ヲ帯ヒ九江漢口方面ニモ出張スル筈ナルカ右支那側トノ交渉方針追送スルニ付委細右ニ付承知ノ上然ルヘク援助セラレ度シ

訓令トシテ南京、漢口、九江へ転電アレ  
北平へ転電セリ

(付記一)

南潯鐵道接管問題ニ関スル対策(四、四、二三)

大正十五年秋支那国民政府ハ南潯鐵道ニ対シ接管ノ端ヲ開キ後国民政府及江西省政府ハ該鐵道ノ管理ヲ実行スルニ至リタルニ依リ我方ハ昨年来抗議ヲ重ネ其ノ不法不当ノ措置ヲ阻止スルニ努メタル処支那側ハ右管理ハ戦時ノ際一時ノ便法ニシテ我邦ノ權利ヲ尊重スルハ勿論将来ニ関スル具體的方策ニ付テハ豫メ案ヲ具シテ本邦側ト協議スヘキ旨ヲ言明シ尚江西省政府ハ昨年五月以来約半歳ニ亘リ該鐵路公司ニ対シ路股保息ヲ交付シ公司ハ之ニ依リ借款利子ノ一部ヲ支払ヒ来リタリ然ルニ省政府ハ本年一月該鐵道ヲ国民政府ノ管理ニ移スト同時ニ該公司ニ対スル路股保息ノ交付ヲ絶チ之カ為公司ハ東亞ニ対スル利払殆ント不能ニ陥リタルニ付我方トシテハ此ノ際速ニ之カ対策ヲ講セサルヘカラサルニ至リタリ

而シテ從來主張シタル接管反対ノ根本方針ニ付キ考察スル

ニ該鐵道ノ現状ニ於テハ無力ナル民営ニ復歸セシムルモ債権回収ノ至難ナルコト明カナルノミナラス他方国民政府ノ基礎モ漸次確立スルニ至リタル事態ニ鑑ミ此際左記ノ方針ヲ以テ支那側ト折衝スルヲ適當ト認ム

(一)從來ノ路股保息ニ代ヘテ少クトモ月額三萬元ヲ鐵道部ノ

責任ヲ以テ利払資金トシテ公司ニ交付セシムルコト(実行方法トシテハ鐵道部ノ命令ヲ以テ江西省政府ヨリ直接該資金ヲ公司ニ交付セシムルヲ可トスヘシ)

尚前項受諾ノ条件トシ臨時弁法トシテ接管承認ヲ申出テタルトキハ經伺ノ上适当態度ヲ決定スルコト

(二)省有又ハ国有ノ如キ根本問題ニ触ルルコトハ之レヲ避クヘキモ支那側ヨリ強テ提案シ来リタル場合ニ於テハ左ノ条件ヲ以テスルニアラサレハ之ニ同意セサルコト

(イ)借款元利全額ヲ承認スルコト

(ロ)右金額ハ即時現金ヲ以テ支払フカ然ラサレハ確定財源ヲ担保トセル公債ヲ以テ支払フコト

(三)国民政府管理ノ下ニ於テ借款条件ノ變更其他ノ要求ヲ提議シ来リタル場合ニ於テハ左ノ通り応酬スルコト

(イ)債権額問題

債権額ノ切下ニハ絶対ニ応セサルモ弁済方法トシテ現存債権額一千三百万餘円ノ内現金ヲ交付セシ約九百万円(此ノ金額ニ付テハ尚精算ヲ要ス)ニ対スル分ノ元利ハ之レヲ償還シ延滞利息ヲ元本ニ振替ヘタル分及延滞利息ハ之レヲ留保シテ利息ヲ附セサルコトヲ提案シタル場合ニハ相当考慮ノ外ナカルヘキコト

(ロ)延長線建設資金統借問題

現鐵道ハ短距離ナル為収支相償ハサルヲ以テ延長線布設ニ依リ増収ヲ図ラン為其ノ建設資金統借ヲ求メ我方之レニ応セサルトキハ第三国ヨリ借款セント提案シ来リタル場合ニ於テハ我方自ラ統借ニ応スヘキ意思ナキヲ以テ第三国カ融通シタル場合本邦借款ノ優先順位ヲ變更セサルヲ条件トシテ契約第八条ノ資金供給ノ優先權ヲ放棄スルヲ妨ケサルコト

(イ)契約上ノ条件問題

顧問ノ聘傭代理經營權等契約上ノ重要事項ノ變更ヲ提案シ来リタル場合ニ於テハ臨時弁法時代之レヲ考慮スヘキ問題ニアラストシテ拒絶スルコト

## (付記二)

監第六一号

昭和四年四月二十五日

大蔵次官 黒田 英雄〔印〕

外務次官 吉田 茂殿

支那漢治萍公司接管問題ニ関スル対策別紙ノ通決定シ近ク上海出張ノ豫定ナル公森財務官ヲシテ支那側ト交渉セシメ度ト存候ニ就テハ貴省ノ御同意ヲ得度御異存無之候ハハ関係地領事ニ対シ右対策実行方可然御訓電相煩度此段及照会候也

## (別紙)

漢治萍公司接管問題ニ関スル対策

支那国民政府カ漢治萍公司接管ヲ企ツルヤ其ノ目的公司事業ノ整理ヲ為スニ在リテ我方ノ權利ハ之ヲ尊重スト云フト雖接管ノ真ノ目的カ孫文ノ遺訓タル鋼鉄国営政策ニ出テタルカ或ハ財政上ノ擄取乃至接管主唱者ノ利己の動機ニ基クカニ依リテ自然支那側今後ノ態度ニ差異アルヘク又我方ノ漢治萍ニ対スル方針カ従来ノ鉄鉱獲得ヲ主眼トスル政策ヲ

固執スルカ或ハ其ノ政策ヲ抛棄スルカニ依リ我方今後ノ態度ニモ寛厳ノ差アルヘシ国民政府ノ接管実行ノ結果ハ萍郷炭鉱或ハ招商局接管ノ先例ニ徴スルモ其ノ所期ノ目的ヲ達シ得サリシノミナラス却テ事業ヲ廢棄セシメタリ而シテ漢治萍ニ関シテハ我方ハ鉄鉄ノ供給ヲ之ニ仰クノ要ナキモ鉱石ニ付テハ尚其ノ供給ニ待タサル可ラサルモノアルニ拘ハラス若シ国民政府カ真ニ鋼鉄国営ノ方針ニ進ムモノトスレハ同政府ノ接管ハ唯ニ漢治萍ニ止マラス更ニ象鼻山桃沖其ノ他ニモ及フヘク從ツテ我國ハ鉱石供給ノ大半ヲ失フコトトナル可キヲ以テ其ノ第一関ニ於テ飽迄之レヲ阻止セサルヘカラス尤モ接管カ財政上ノ擄取或ハ接管主唱者ノ利己の動機ニ出テタルモノナリトセハ其ノ間自ラ變通ノ道ナキニアラサルヘシ

我方トシテハ其ノ何レニスルモ従来接管ニ反対シ来リタル態度ハ之レヲ變更スル能ハサル所ナリト雖モ一面ニ於テ国民政府ノ状況ヲ觀ルニ昨年我方抗議ノ下ニ不法不当ナル行動ヲ取消サシメタル當時ト今日トヲ比較スルニ該政府ハ列國トノ外交ニ於テ成功シ対外的ニハ異常ノ進歩ヲ遂ケタルハ否ムヘカラサル事実ナル而已ナラス該政府ノ已ニ発シタ

ル接管命令実施ノ期ニ迫ンテ之レヲ阻止セントスルハ容易ノ業ニアラサルハ明カナリ

然レトモ本件ハ我方既得ノ權利ニ重大ナル変化ヲ及ホスヘキモノナルヲ以テ本件ノ交渉ニ付テハ特ニ強硬ナル態度ヲ持シ左記要綱ニ依リ支那側ト折衝スルヲ適當ト認ム

一、国民政府ノ接管ハ左記理由ヲ指摘シ之ヲ否認スルコト  
(イ) 国民政府カ先年萍郷炭鉱ヲ接管シタルハ戦時ノ際共產党ノ侵害ヲ防遏スル為已ムヲ得サルニ出タル措置ナリト言フモ其ノ為シタル処ハ擅ニ石炭ヲ奪用或ハ販売シ且鉱坑ヲ廢棄セシメ又招商局ヲ接管シタル結果ハ其ノ資産ヲ壞損セシメ諸弊続出シ又大冶セメント廠ノ接管ノ結果モ同様ナルカ故ニ漢治萍ノ接管ニ対シテモ先方ノ言明ヲ信賴スル能ハサルコト

(ロ) 現ニ国民政府カ公司ニ対シ接管ト称シ石炭鉱山其ノ他一切ノ財産ノ交付ヲ命令セルニ見レハ沒收ニ等シキ措置ニシテ其ノ所謂接管ノ意義不明ナルコト

(ハ) 本邦側ハ大正十五年四月以来本年三月ニ至ルマテ三年間鉱石代金中ヨリ借款元利ノ優先支払ヲ受クルコトヲ猶豫シ公司ノ事業ヲ援助且整理シタル結果鉱石ノ採掘

ハ順調ニ進行シツツアルヲ以テ今後モ公司自身ヲシテ整理ヲ繼續セシムレハ足り特ニ政府ノ管理ヲ必要トセサルコト

(編注) 二、国民政府ニシテ不当ナル接管ヲ決定スルニ於テハ我方

ハ前記(イ)ノ猶豫期間延長ヲ認メサルコト

其ノ結果鉱石ノ供給不能ニ陥ルコトアルヘキモ製鉄所ニ於テハ「ジョホール」其ノ他ノ方面ヨリノ鉱石ヲ以テ其ノ不足ヲ補ヒ以テ支那側ノ屈服ノ時機マテ持久策ヲ講スルコト

編 注 二、ハ外務省において削除、「保留」とされている。

830

昭和4年5月9日

在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

陳延炯總務司長が南潯鐵道に対する東亞興業  
会社の債權尊重を言明について

第五〇三号

南京 5月9日後発  
本省 5月10日前着

本月六日本官澤田参事官紹介ノ為孫科訪問ノ際孫ヲシテ南  
海鐵路問題担任ノ総務司長陳延炯（日本留学出身）ヲ招致  
セシメ本官ヨリ陳ニ対シ我方主張ヲ述ヘタル処陳ハ終始円  
満ナル態度ヲ以テ同鉄道ト日本トノ密接ナル関係ヲ繰返シ  
タル後要スルニ日本側トシテモ實際問題トシテ同鉄道ヲ自  
ラ管理スル事ハ難シカルヘク支那側モ今後依然日本側ノ援  
助ヲ受クル必要アルヲ以テ決シテ東亞ノ債權ヲ踏ミ倒ス意  
思ナク江西省政府ノ独力ニテ不可能ナラハ鉄道部ヨリ補助  
シテモ東亞ニ対スル月額三萬元ノ支払ハ実行ニ努ムヘシト  
語レルカ其ノ後目下來寧中ノ公森内田一行カ陳司長ニ面会  
本件ヲ持出シタル際モ陳ハ既ニ本官ト談合ノ次第モアリ同  
様穩健ナル態度ヲ以テ支那側ノ意思ヲ説明シタル趣ニテ一  
行ハ右ニテ満足シ居ルモノノ如シ

支、上海、九江へ転電セリ

831 昭和4年5月9日

在南京岡本領事より  
田中外交大臣宛（電報）

陳延炯総務司長は漢冶萍公司接管問題は日本側  
の利益を無視するものではない旨談話について

北平、上海、漢口へ転電セリ

832 昭和4年5月23日

在上海重光総領事より  
田中外交大臣宛（電報）

公森財務官一行の報告により事実上漢冶萍公  
司接管問題は立消えの状態とみられることに  
ついて

上海 5月23日後発

本省 5月24日前着

第七一二号

貴電第三一二号ニ関シ

一、漢冶萍接管問題ニ関スル当方ノ抗議ニ付テハ屢次ノ往  
電及公信ニ依リ御承知ノ通ナル処公森財務官一行六日本  
官ヲ来訪シ本件ニ関スル今後ノ対策ニ付相談アリタルニ  
依リ前記貴電御来示ノ交渉方針ハ未タ接到セサリシモ公  
森ノ持参セル書類ニ依リ政府ノ御意嚮ハ大体推知スルヲ  
得タルヲ以テ種々協議ノ結果兎ニ角公森一行ハ此ノ際南  
京ニ赴キ南海鐵路問題等ノ交渉ノ傍本件ニ付テモ支那側  
ニ対シ我方ノ意ノアル処ヲ説明スルト共ニ接管ニ対シテ

第五〇四号

往電第三九六号ニ関シ

往電第五〇三号本官陳司長ニ面会ノ際陳ハ漢冶萍公司ト我  
方トノ関係ニ言及シ同公司ニ対スル日本側ノ御希望ハ単ニ  
債權自体ニ止マラス鉄鉞ヲ要求セラルル趣意ハ自分等ニ於  
テ充分諒解シ居ルヲ以テ仮令一部ノモノカ過激ナル主張ヲ  
為ストモ左程心配セラルルニ及ハサルヘシト語レルカ往電  
第五〇二号内田一行カ王伯群ニ面会ノ際モ王ハ本件ニ関シ  
公司ノ所管カ既ニ交通部ヨリ農鉞部へ移管セラレタル関係  
上詳細ナル事情ハ知ラサルモ自分ノ承知スル範圍ニ於テハ  
国民政府ハ（一）今後採鉄事業カ何ノ程度迄有望ナルヤヲ研究  
中ニシテ果シテ有望ナルニ於テハ大々的ニ事業ヲ拡張スル  
筈ナルカ現在迄ノ報告ニ依レハ餘リ見込ナキモノノ如ク又  
（二）公司接管問題ハ日本側ニ於テ多少誤解アル模様ナルカ国  
民政府ハ盛宣懷ノ持株ヲ全部没収シ董事会ヲ改造セムトス  
ルニ過キスシテ決シテ日本側ノ利益ヲ無視スルモノニアラ  
サル旨語レル趣ナリ

ハ從來ノ方針ニ依リ断乎タル反対意嚮ヲ示シ置ク事然ル  
ヘシトノ意見ニ一致シ同行ハ七日赴寧セリ

二、十三日公森一行帰寧シ詳細ナル報告ヲ提出シ（報告書  
郵送ス）タルカ右ニ依レハ支那側ニ於テモ我方カ接管ニ  
絶対反対ナル態度ヲ度々示シタル為大ニ警戒シタルモノ  
ノ如ク從テ俄ニ急激ナル手段ニ出ツル模様モナク政府当  
路者ニ於テモ接管問題ハ曩ニ漢冶萍公司ノ法人格取消ノ  
申請ヲ却下シタルコトニ依リ事実上消滅シ目下何等問題  
ナキ筈ナリト迄言明シ居タル趣ナリ

三、本件ニ関シテハ我方屢次ノ抗議ニ依リ支那側モ事実躊  
躇シ居ルモノアリ而モ其ノ最後ノ抗議ニ対シテハ未タ反  
駁等ヲナシ來ラサルヲ以テ目下ノ所ニテハ我方ノ主張ニ  
默從シタル形トナリ居ルノミナラス前記ノ如ク政府側ノ  
態度モ事実上大分緩和シ來リタル觀アル一方目下ノ状態  
ニテハ漢冶萍公司ハ引續キ從來ノ通鉞石ヲ輸出シツツア  
ルヲ以テ我方トシテモ特ニ不都合ヲ感スル点ナキ次第ナ  
ル処若シ此ノ際更ニ支那側ヲ追究シテ接管命令ノ取消ヲ  
強要スルニ於テハ却テ事態ヲ紛糾セシムルノ危険ナキニ  
アラスト思考セラル依テ公森財務官トモ協議ノ結果此ノ

南京 5月9日後発  
本省 5月10日前着

際ハ暫ク此ノ事態ヲ見送ルト共ニ機会アル毎ニ我方ノ強硬ナル意向ヲ先方ニ感知セシメ以テ嚴重監視ノ態度ヲ執ルコトトシタルニ付右ニ御含置請フ

北平、南京、漢口へ転電セリ

833 昭和4年6月5日 在九江河野(清)領事代理より  
田中外務大臣宛

南潯鉄道の東亜興業会社に対する補助金交付は  
今後容易に実行されざるものと推察について

機密往信第一五四号 (6月14日接受)

昭和四年六月五日

在九江

領事代理 河野 清〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

南潯鉄路問題ニ関シ報告ノ件

本件鉄道部ノ南潯鉄路接管ト同時ニ東亜側債款償還問題ニ関シテハ屢次報告申進ノ通りナルカ今回南潯鉄路高比良会計顧問ヨリ聞ク処ニ依レハ五月二十三日鉄道部ノ收入金ヨリ貳万元五月二十九日江西省政府ヨリノ補助金四万元六月

四日鉄道部收入金ヨリ壹万元合計七万元ヲ東亜側へ支払ヒタリトノ事ナルカ今後省政府ノ補助金交付ニ関シテハ財政窮乏ノ折柄端午節ニ際シ各所経費ノ支弁ニ窮シタル結果当省地租ヲ抵当トシテ中国、中央、市立ノ三銀行ヨリ六拾万元三ヶ月ノ短期借款ヲ為セリトノ事ナレハ此ノ後省政府ノ補助金交付ハ容易ニ実行セラレサルモノト推察セラル右何等御参考迄報告ス

本信写送附先

在支公使 上海、漢口各総領事、南京領事